

泉大津市
教育に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和7年3月
泉 大 津 市

目次

I	調査の概要	4
1	調査の目的	4
2	調査対象	4
3	調査期間	4
4	調査方法	4
5	回収状況	4
6	調査結果の表示方法	4
II	調査結果	5
1	保護者	5
2	(1) 泉大津市の教育について	5
3	(2) 読書について	11
4	(3) めざす人間像について	12
5	(4) 文化について	13
2	小中学生	14
3	(1) 勉強のことについて	14
4	(2) 読書のことについて	17
5	(3) 地域の人たちのことについて	19
6	(4) 居場所について	20
7	(5) 文化について	21

3 教員.....	22
(1) あなた自身のことについて	22
(2) 授業・学習のことについて	24
(3) 支援が必要な児童生徒への支援について	27
(4) めざす人間像について	28
4 学校運営協議会	29
(1) 学校運営協議会の活動のことについて	29
(2) めざす人間像について	32
5 就学前施設	33
(1) あなた自身のことについて	33
(2) 園所での取組について	34
(3) 地域の小学校との連携について	38
(4) めざす人間像について	39

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、教育基本法第17条第2項に定める教育振興のための基本計画として「第2次（期）泉大津市教育振興基本計画」の策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

保護者：市内小中学校に通う児童生徒の保護者

小中学生：市内小中学校に通う児童生徒

教員：市内小中学校の教職員

学校運営協議会：市内小中学校の学校運営協議会委員

就学前施設：市内私立公立就学前教育・保育施設園所職員

3 調査期間

令和6年7月～令和6年8月

4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
保護者	—	601通	—
小中学生	5,117通	3,240通	63.3%
教員	414通	213通	51.4%
学校運営協議会	60通	31通	51.7%
就学前施設	370通	141通	38.1%

※保護者については、児童生徒を通してアンケートを配布したため、配布数を設定していません。

6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しております。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

II 調査結果

1 保護者

(1) 泉大津市の教育について

問 泉大津市で、以下の重点的に取り組んでいる活動について知っていますか。また、以前に比べ取組が進んできていると思いますか。(各項目それぞれひとつに○)

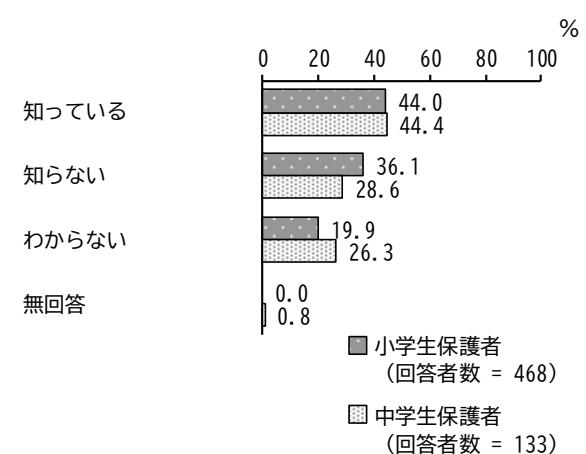
【認知度】

① 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善

小学生保護者では、「知っている」の割合が44.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が36.1%、「わからない」の割合が19.9%となって います。

中学生保護者では、「知っている」の割合が44.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が28.6%、「わからない」の割合が26.3%となっ ています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小 学生保護者で「知らない」の割合が高くなっ ています。一方、中学生保護者で「わからない」の割 合が高くなっています。

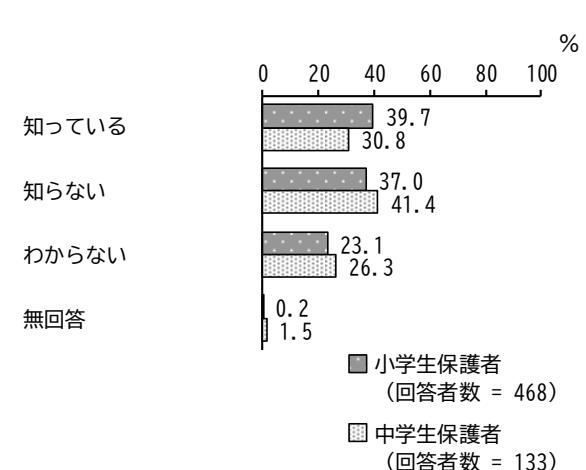


② 言語能力及び情報活用能力の育成

小学生保護者では、「知っている」の割合が39.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が37.0%、「わからない」の割合が23.1%となっ ています。

中学生保護者では、「知らない」の割合が41.4% と最も高く、次いで「知っている」の割合が30.8%、「わからぬ」の割合が26.3%となっ ています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小 学生保護者で「知っている」の割合が高くなっ ています。

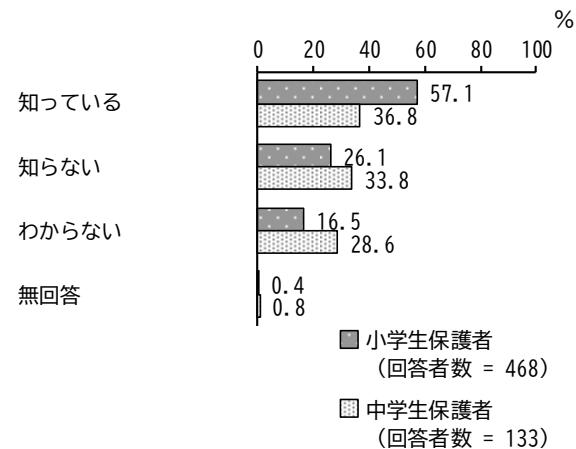


③ 英語教育の推進

小学生保護者では、「知っている」の割合が57.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が26.1%、「わからない」の割合が16.5%となっています。

中学生保護者では、「知っている」の割合が36.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が33.8%、「わからない」の割合が28.6%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「知っている」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「知らない」「わからない」の割合が高くなっています。

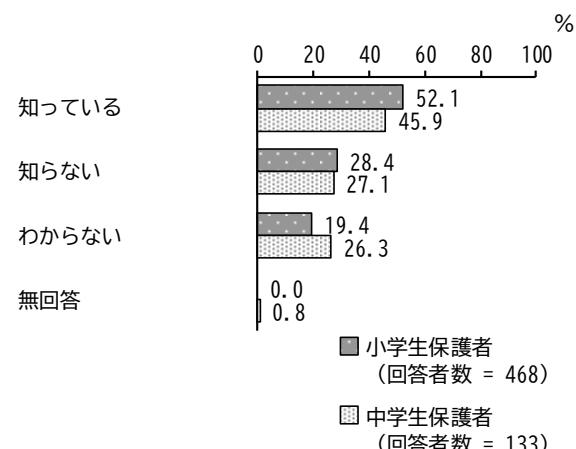


④ 差別を許さない、人権意識を持った子どもの育成

小学生保護者では、「知っている」の割合が52.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が28.4%、「わからない」の割合が19.4%となっています。

中学生保護者では、「知っている」の割合が45.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が27.1%、「わからない」の割合が26.3%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「知っている」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「わからない」の割合が高くなっています。

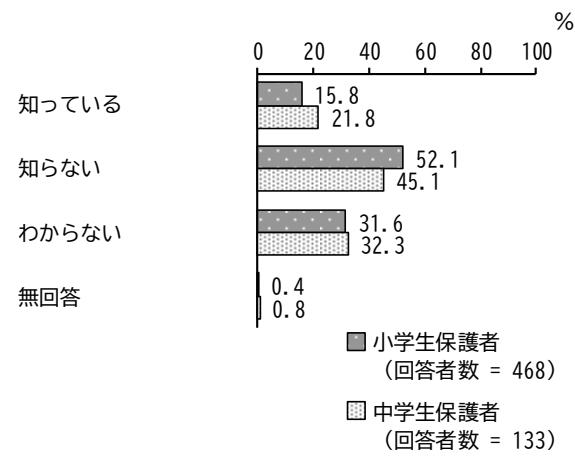


⑤ キャリア教育の推進

小学生保護者では、「知らない」の割合が 52.1% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.6%、「知っている」の割合が 15.8% となっています。

中学生保護者では、「知らない」の割合が 45.1% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 32.3%、「知っている」の割合が 21.8% となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「知らない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「知っている」の割合が高くなっています。

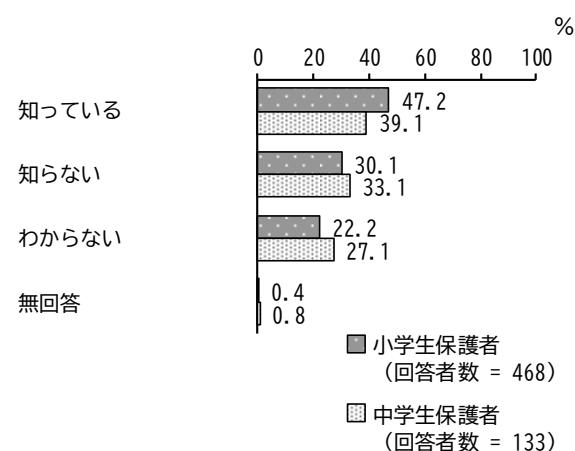


⑥ コミュニティ・スクールの推進

小学生保護者では、「知っている」の割合が 47.2% と最も高く、次いで「知らない」の割合が 30.1%、「わからない」の割合が 22.2% となっています。

中学生保護者では、「知っている」の割合が 39.1% と最も高く、次いで「知らない」の割合が 33.1%、「わからない」の割合が 27.1% となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「知っている」の割合が高くなっています。



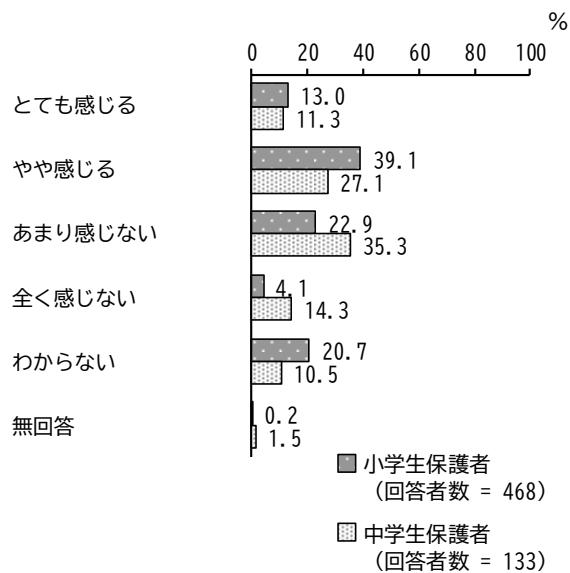
【取組が進んできていると思うか】

① 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善

小学生保護者では、「やや感じる」の割合が39.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が22.9%、「わからない」の割合が20.7%となっています。

中学生保護者では、「あまり感じない」の割合が35.3%と最も高く、次いで「やや感じる」の割合が27.1%、「全く感じない」の割合が14.3%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「やや感じる」「わからない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。

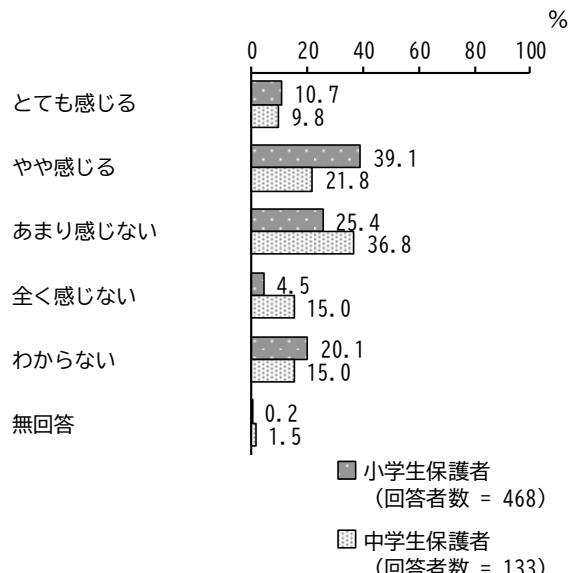


② 言語能力及び情報活用能力の育成

小学生保護者では、「やや感じる」の割合が39.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が25.4%、「わからない」の割合が20.1%となっています。

中学生保護者では、「あまり感じない」の割合が36.8%と最も高く、次いで「やや感じる」の割合が21.8%、「全く感じない」、「わからない」の割合が15.0%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「やや感じる」「わからない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。

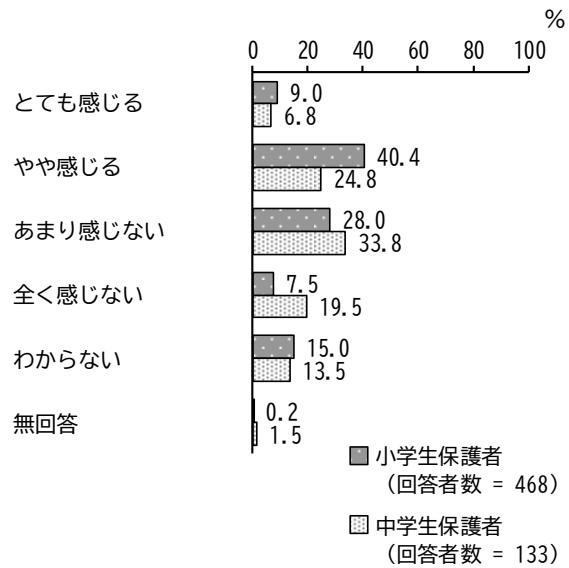


③ 英語教育の推進

小学生保護者では、「やや感じる」の割合が40.4%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が28.0%、「わからない」の割合が15.0%となっています。

中学生保護者では、「あまり感じない」の割合が33.8%と最も高く、次いで「やや感じる」の割合が24.8%、「全く感じない」の割合が19.5%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「やや感じる」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。

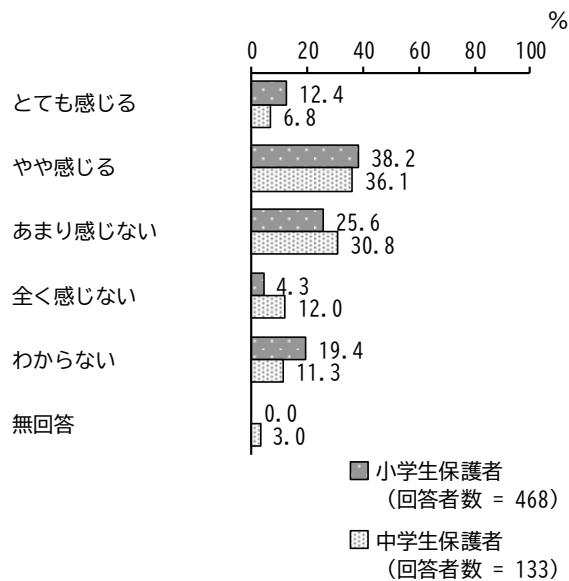


④ 差別を許さない、人権意識を持った子どもの育成

小学生保護者では、「やや感じる」の割合が38.2%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が25.6%、「わからない」の割合が19.4%となっています。

中学生保護者では、「やや感じる」の割合が36.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が30.8%、「全く感じない」の割合が12.0%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「とても感じる」「わからない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。

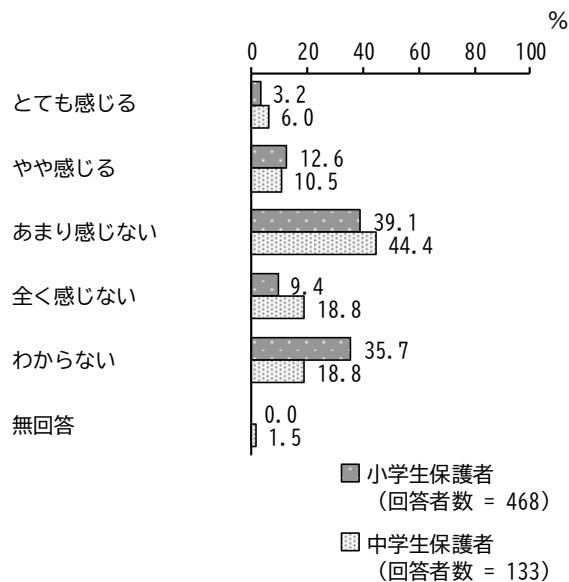


⑤ キャリア教育の推進

小学生保護者では、「あまり感じない」の割合が39.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が35.7%、「やや感じる」の割合が12.6%となっています。

中学生保護者では、「あまり感じない」の割合が44.4%と最も高く、次いで「全く感じない」、「わからない」の割合が18.8%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「わからない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。

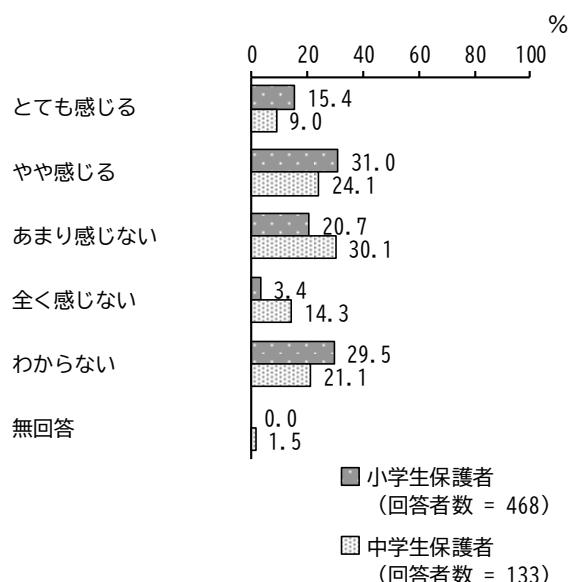


⑥ コミュニティ・スクールの推進

小学生保護者では、「やや感じる」の割合が31.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.5%、「あまり感じない」の割合が20.7%となっています。

中学生保護者では、「あまり感じない」の割合が30.1%と最も高く、次いで「やや感じる」の割合が24.1%、「わからない」の割合が21.1%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「とても感じる」「やや感じる」「わからない」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「あまり感じない」「全く感じない」の割合が高くなっています。



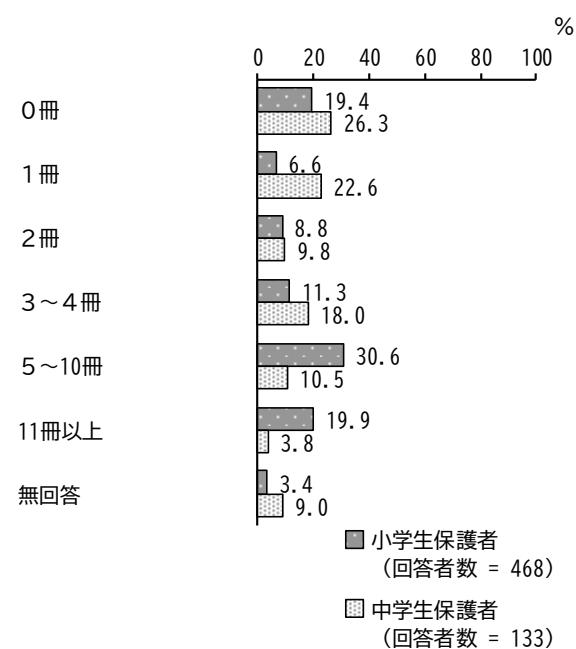
(2) 読書について

問 4月から6月の間に、本（電子書籍を含む）を何冊読みましたか。読んだ本の冊数を記入してください。

小学生保護者では、「5～10 冊」の割合が30.6%と最も高く、次いで「11 冊以上」の割合が19.9%、「0 冊」の割合が19.4%となっています。

中学生保護者では、「0 冊」の割合が26.3%と最も高く、次いで「1 冊」の割合が22.6%、「3～4 冊」の割合が18.0%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「5～10 冊」「11 冊以上」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「0 冊」「1 冊」「3～4 冊」の割合が高くなっています。



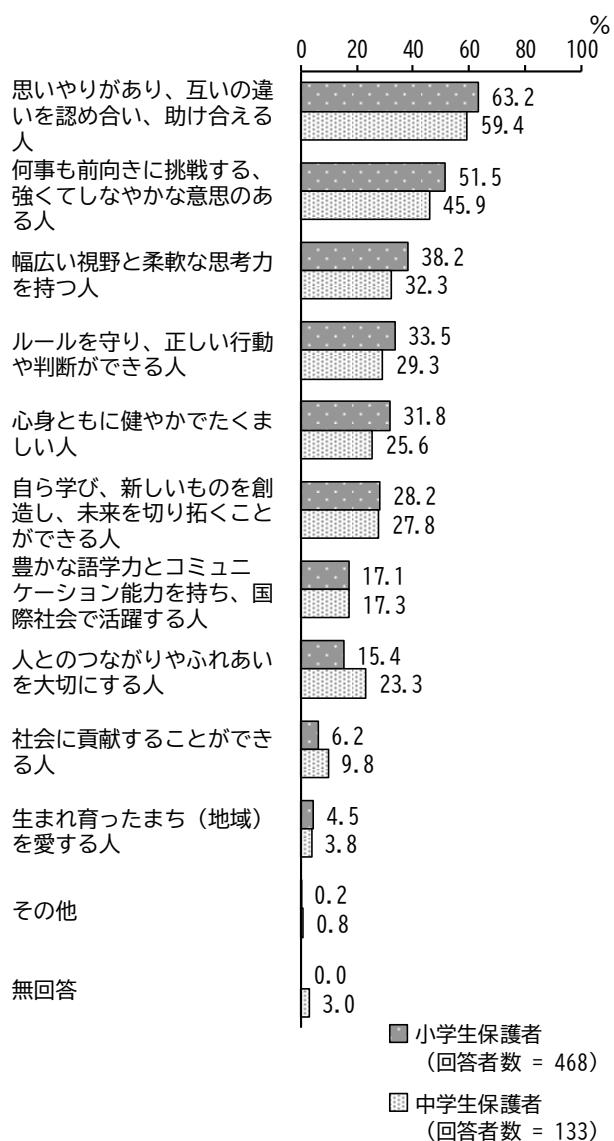
(3) めざす人間像について

問 泉大津市の子どもたちに将来どのような大人に育ってほしいと思いますか。
(特に思うもの3つまで)

小学生保護者では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が63.2%と最も高く、次いで「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が51.5%、「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」の割合が38.2%となっています。

中学生保護者では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が59.4%と最も高く、次いで「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が45.9%、「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」の割合が32.3%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」「心身ともに健やかでたくましい人」の割合が高くなっています。一方、中学生保護者で「人とのつながりやふれあいを大切にする人」の割合が高くなっています。



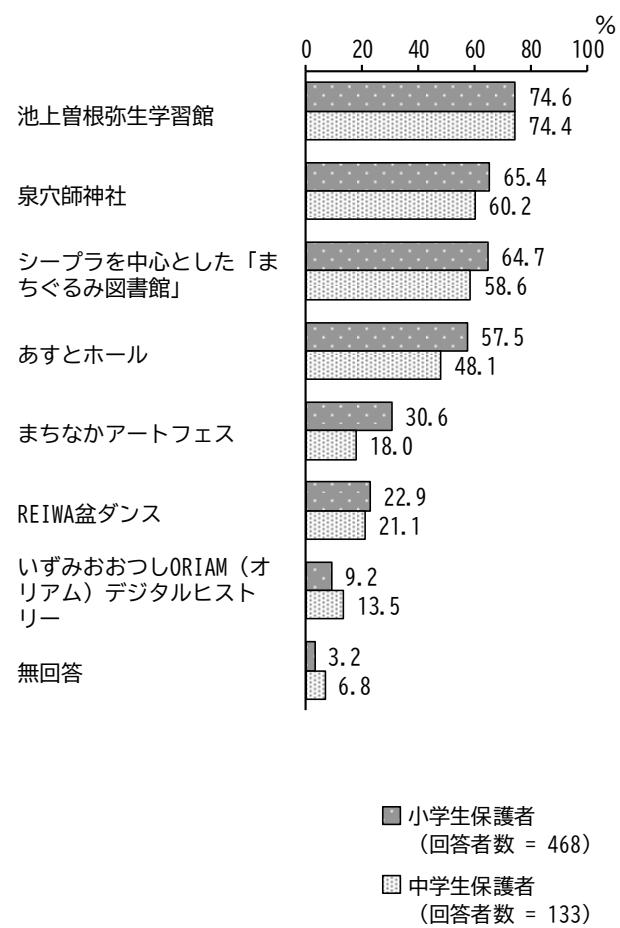
(4) 文化について

問 泉大津市で、文化に関することで知っているものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学生保護者では、「池上曾根弥生学習館」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「泉穴師神社」の割合が 65.4%、「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」」の割合が 64.7%となっています。

中学生保護者では、「池上曾根弥生学習館」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「泉穴師神社」の割合が 60.2%、「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」」の割合が 58.6%となっています。

小学生保護者と中学生保護者と比較すると、小学生保護者で「泉穴師神社」「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」「あすとホール」「まちなかアートフェス」の割合が高くなっています。



2 小中学生

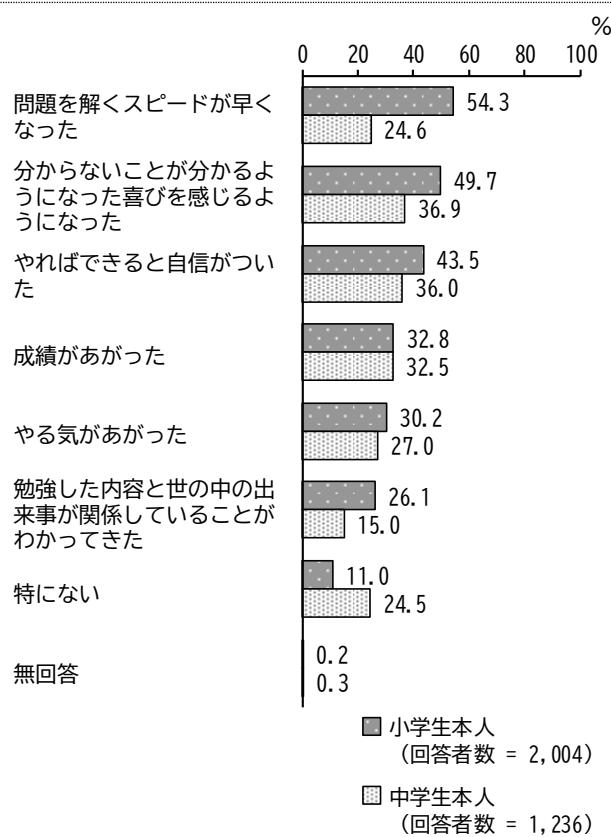
(1) 勉強のことについて

問 学校での勉強について、最近感じるものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学生では、「問題を解くスピードが早くなつた」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「分からぬことが分かるようになった喜びを感じるようになった」の割合が 49.7%、「やればできると自信がついた」の割合が 43.5%となっています。

中学生では、「分からぬことが分かるようになった喜びを感じるようになった」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「やればできると自信がついた」の割合が 36.0%、「成績があがつた」の割合が 32.5%となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「問題を解くスピードが早くなつた」「分からぬことが分かるようになった喜びを感じるようになった」「やればできると自信がついた」「勉強した内容と世の中の出来事が関係していることがわかつてきた」の割合が高くなっています。一方、中学生で「特になし」の割合が高くなっています。

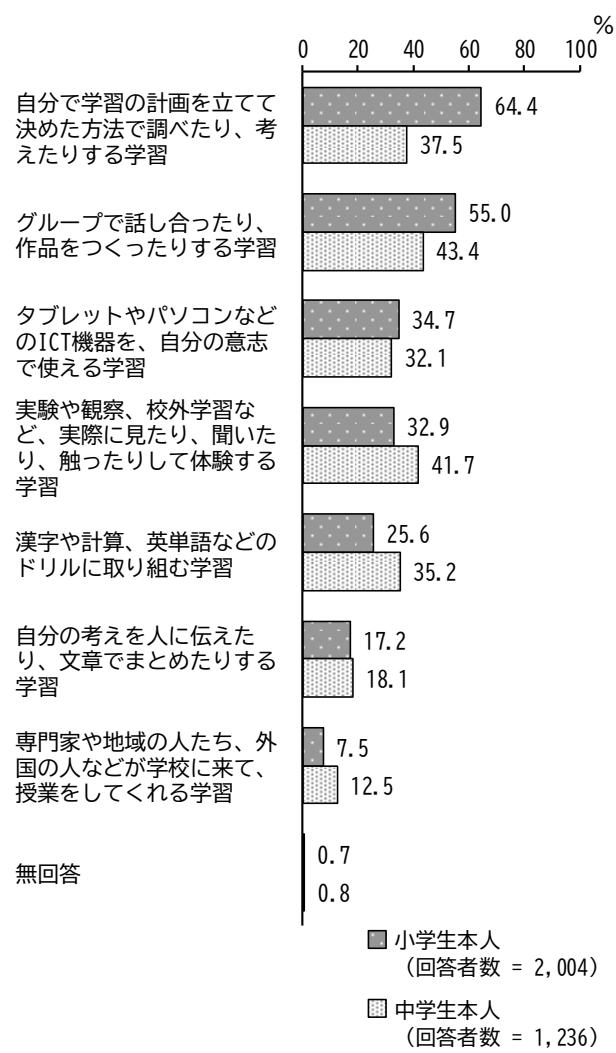


問 学校の授業について、どんな学び方だと、理解が進むと思いますか。
(3つまで選んで○)

小学生では、「自分で学習の計画を立てて決めた方法で調べたり、考えたりする学習」の割合が 64.4% と最も高く、次いで「グループで話し合ったり、作品をつくったりする学習」の割合が 55.0%、「タブレットやパソコンなどの ICT 機器を、自分の意志で使える学習」の割合が 34.7% となっています。

中学生では、「グループで話し合ったり、作品をつくったりする学習」の割合が 43.4% と最も高く、次いで「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、触ったりして体験する学習」の割合が 41.7%、「自分で学習の計画を立てて決めた方法で調べたり、考えたりする学習」の割合が 37.5% となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「自分で学習の計画を立てて決めた方法で調べたり、考えたりする学習」「グループで話し合ったり、作品をつくったりする学習」の割合が高くなっています。一方、中学生で「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、触ったりして体験する学習」「漢字や計算、英単語などのドリルに取り組む学習」「専門家や地域の人たち、外国人の人などが学校に来て、授業をしてくれる学習」の割合が高くなっています。

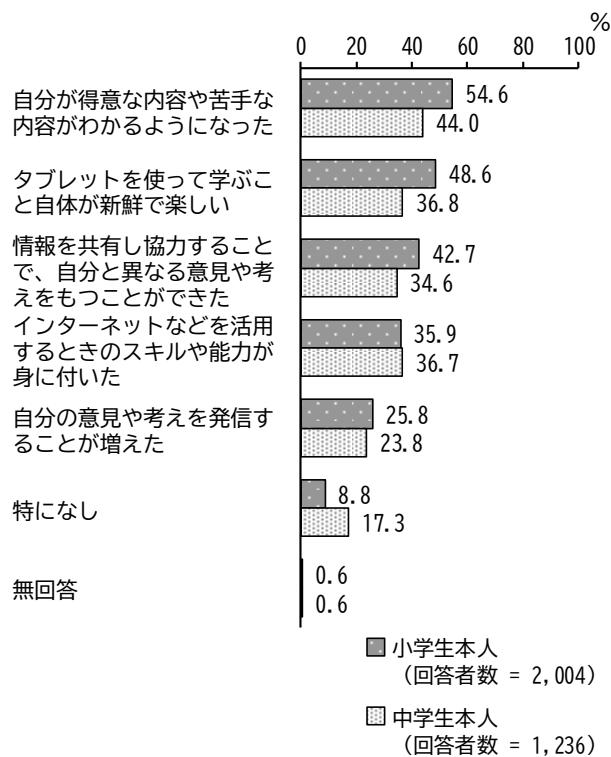


問 学校や家庭での勉強について、ICT（情報通信技術）機器を活用した学習でよいと感じるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

小学生では、「自分が得意な内容や苦手な内容がわかるようになった」の割合が 54.6% と最も高く、次いで「タブレットを使って学ぶこと自体が新鮮で楽しい」の割合が 48.6%、「情報を共有し協力することで、自分と異なる意見や考えをもつことができた」の割合が 42.7% となっています。

中学生では、「自分が得意な内容や苦手な内容がわかるようになった」の割合が 44.0% と最も高く、次いで「タブレットを使って学ぶこと自体が新鮮で楽しい」の割合が 36.8%、「インターネットなどを活用するときのスキルや能力が身に付いた」の割合が 36.7% となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「自分が得意な内容や苦手な内容がわかるようになった」「タブレットを使って学ぶこと自体が新鮮で楽しい」「情報を共有し協力することで、自分と異なる意見や考えをもつことができた」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「特になし」の割合が高くなっています。



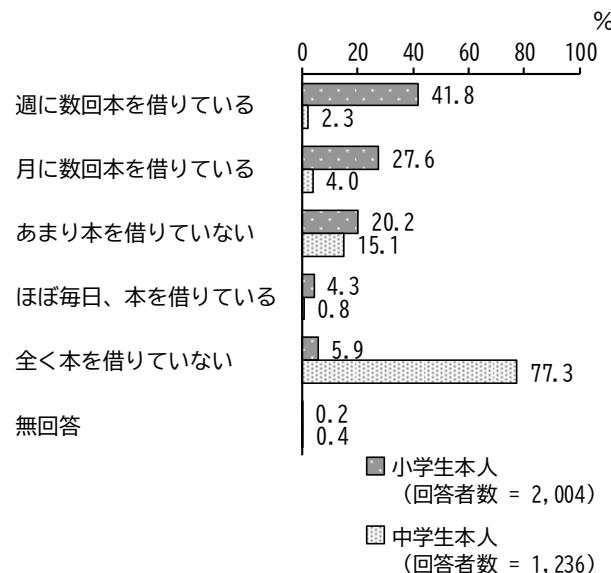
(2) 読書のことについて

問 学校図書館で、どれくらい本を借りていますか。(ひとつに○)

小学生では、「週に数回本を借りている」の割合が 41.8% と最も高く、次いで「月に数回本を借りている」の割合が 27.6%、「あまり本を借りていない」の割合が 20.2% となっています。

中学生では、「全く本を借りていない」の割合が 77.3% と最も高く、次いで「あまり本を借りていない」の割合が 15.1% となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「週に数回本を借りている」「月に数回本を借りている」「あまり本を借りていない」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「全く本を借りていない」の割合が高くなっています。



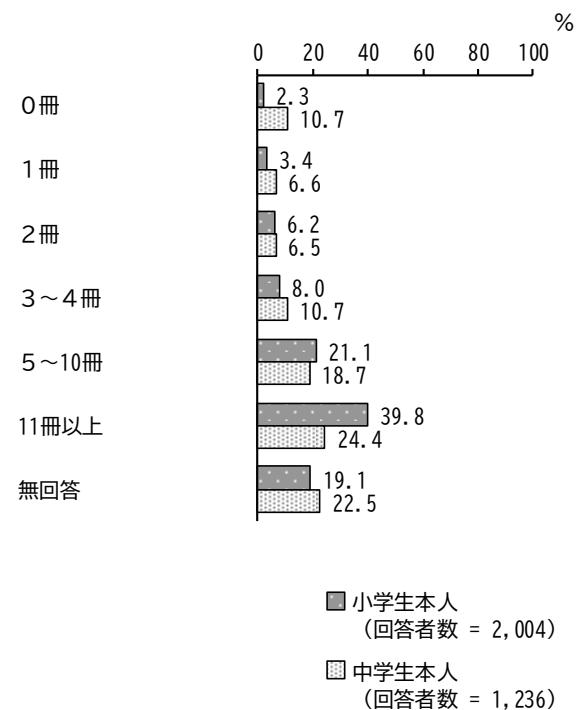
問 今の学年になってから「本・雑誌」(電子書籍を含む)を何冊読みましたか。
ア、イのそれぞれについて、読んだ本の冊数を()に記入してください。

【ア】本

小学生では、「11冊以上」の割合が39.8%と最も高く、次いで「5~10冊」の割合が21.1%となっています。

中学生では、「11冊以上」の割合が24.4%と最も高く、次いで「5~10冊」の割合が18.7%、「0冊」、「3~4冊」の割合が10.7%となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「11冊以上」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「0冊」の割合が高くなっています。

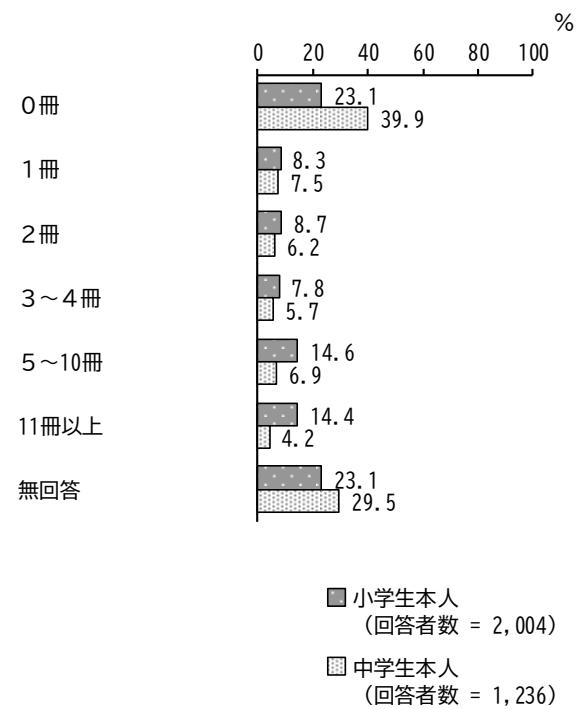


【イ】雑誌(マンガの雑誌も入ります)

小学生では、「0冊」の割合が23.1%と最も高く、次いで「5~10冊」の割合が14.6%、「11冊以上」の割合が14.4%となっています。

中学生では、「0冊」の割合が39.9%と最も高くなっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「5~10冊」「11冊以上」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「0冊」の割合が高くなっています。



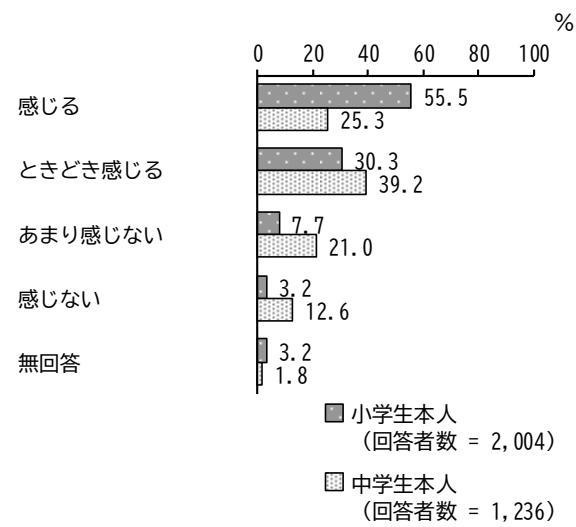
(3) 地域の人たちのことについて

問 みらい応援隊や地域の大人はあなたを見守ってくれていると感じますか。
(ひとつに○)

小学生では、「感じる」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「ときどき感じる」の割合が 30.3%となっています。

中学生では、「ときどき感じる」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「感じる」の割合が 25.3%、「あまり感じない」の割合が 21.0%となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「感じる」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「ときどき感じる」「あまり感じない」「感じない」の割合が高くなっています。



(4) 居場所について

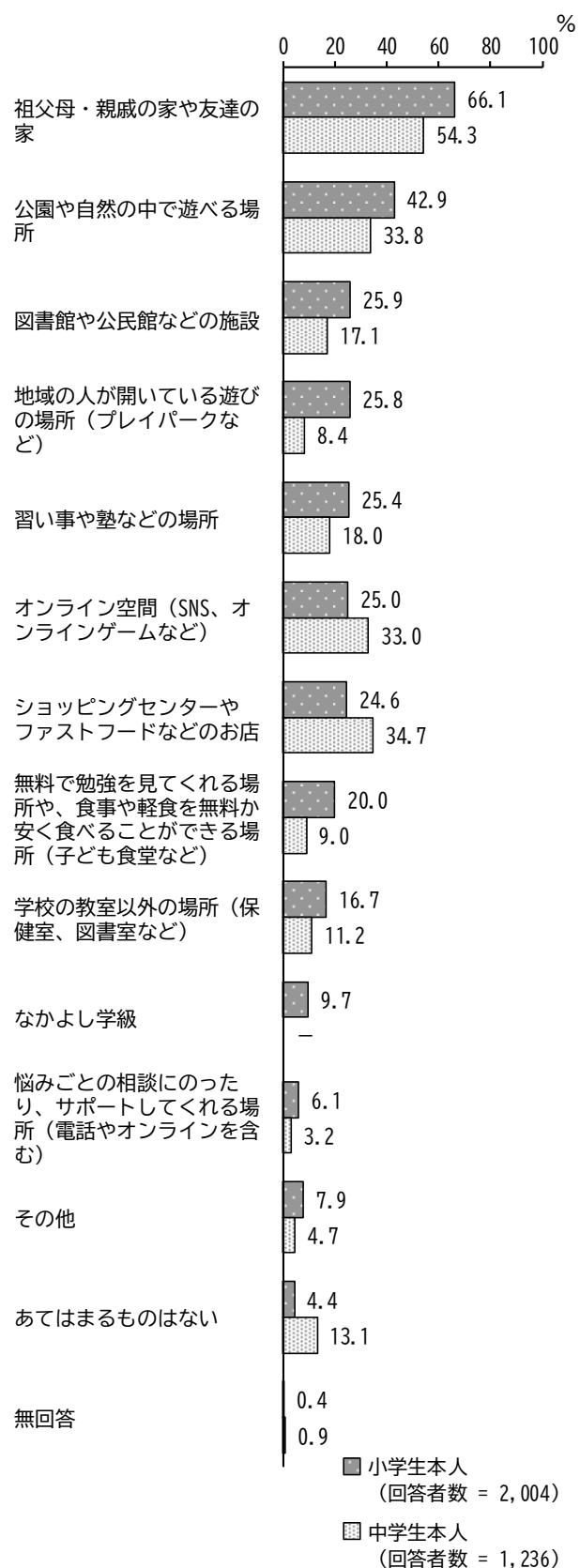
問 家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業やクラブ活動）以外に、「ここに居たい」と思う居場所がありますか。（あてはまるものすべてに○）

小学生では、「祖父母・親戚の家や友達の家」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」の割合が 42.9%、「図書館や公民館などの施設」の割合が 25.9%となっています。

中学生では、「祖父母・親戚の家や友達の家」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」の割合が 34.7%、「公園や自然の中で遊べる場所」の割合が 33.8%となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「祖父母・親戚の家や友達の家」「公園や自然の中で遊べる場所」「図書館や公民館などの施設」「地域の人が開いている遊びの場所（プレイパークなど）」「習い事や塾などの場所」「無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」「学校の教室以外の場所（保健室、図書室など）」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）」「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」「あてはまるものはない」の割合が高くなっています。

※「なかよし学級」の選択肢は、小学生本人のみを対象としています。



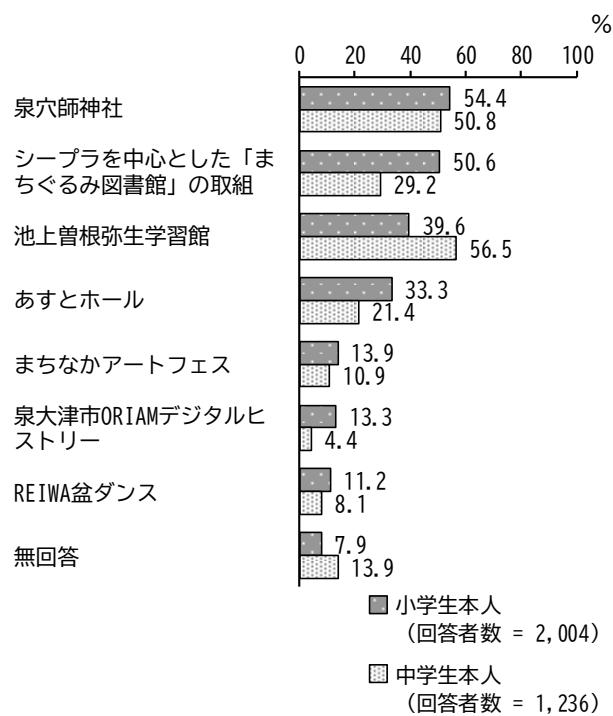
(5) 文化について

問 泉大津市で、文化に関することで知っているものがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学生では、「泉穴師神社」の割合が 54.4% と最も高く、次いで「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」の取組」の割合が 50.6%、「池上曾根弥生学習館」の割合が 39.6% となっています。

中学生では、「池上曾根弥生学習館」の割合が 56.5% と最も高く、次いで「泉穴師神社」の割合が 50.8%、「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」の取組」の割合が 29.2% となっています。

小学生本人と中学生本人を比較すると、小学生本人で「シープラを中心とした「まちぐるみ図書館」の取組」「あすとホール」「泉大津市 ORIAM デジタルヒストリー」の割合が高くなっています。一方、中学生本人で「池上曾根弥生学習館」の割合が高くなっています。



3 教員

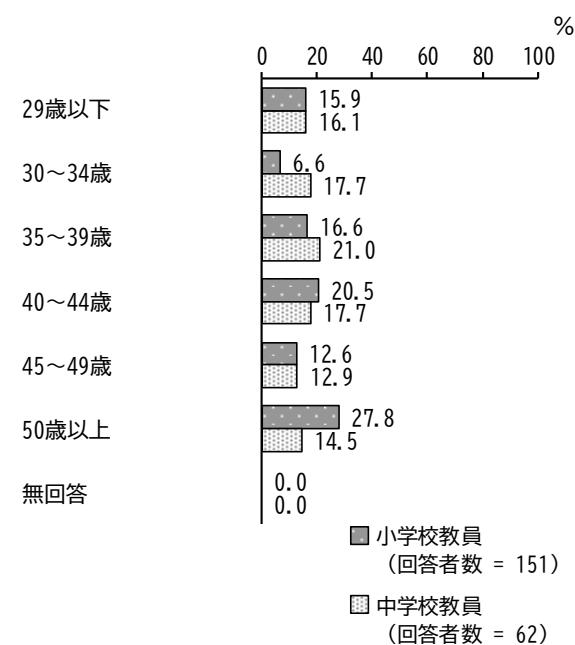
(1) あなた自身のことについて

問 年齢は次のうちどれですか。(ひとつに○)

小学校教員では、「50歳以上」の割合が27.8%と最も高く、次いで「40~44歳」の割合が20.5%、「35~39歳」の割合が16.6%となっています。

中学校教員では、「35~39歳」の割合が21.0%と最も高く、次いで「30~34歳」、「40~44歳」の割合が17.7%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「50歳以上」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「30~34歳」の割合が高くなっています。

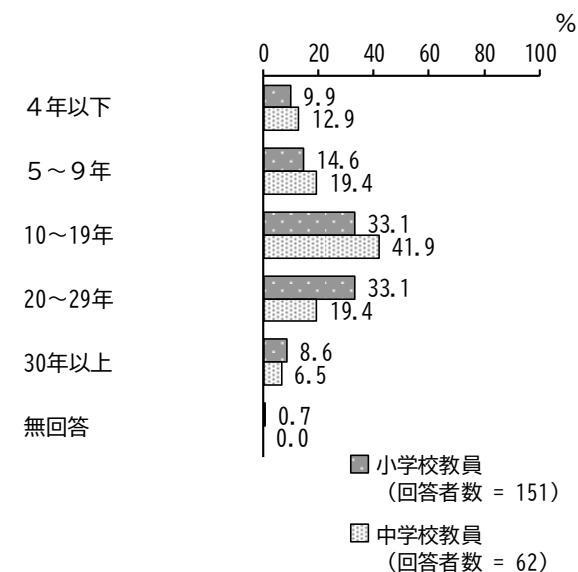


問 教職経験年数（講師経験年数を含む）は次のうちどれですか。(ひとつに○)

小学校教員では、「10~19年」、「20~29年」の割合が33.1%と最も高く、次いで「5~9年」の割合が14.6%となっています。

中学校教員では、「10~19年」の割合が41.9%と最も高く、次いで「5~9年」、「20~29年」の割合が19.4%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「20~29年」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「10~19年」の割合が高くなっています。

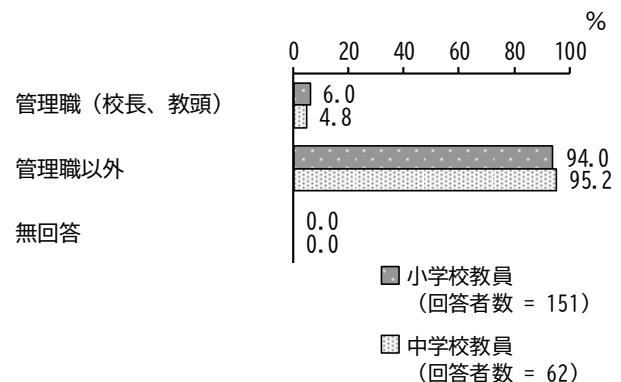


問 役職・勤務形態は次のうちどれですか。(ひとつに○)

小学校教員では、「管理職（校長、教頭）」の割合が 6.0%、「管理職以外」の割合が 94.0%となっています。

中学校教員では、「管理職（校長、教頭）」の割合が 4.8%、「管理職以外」の割合が 95.2%となっています。

小学校教員と中学校教員と比較すると、大きな差はみられません。



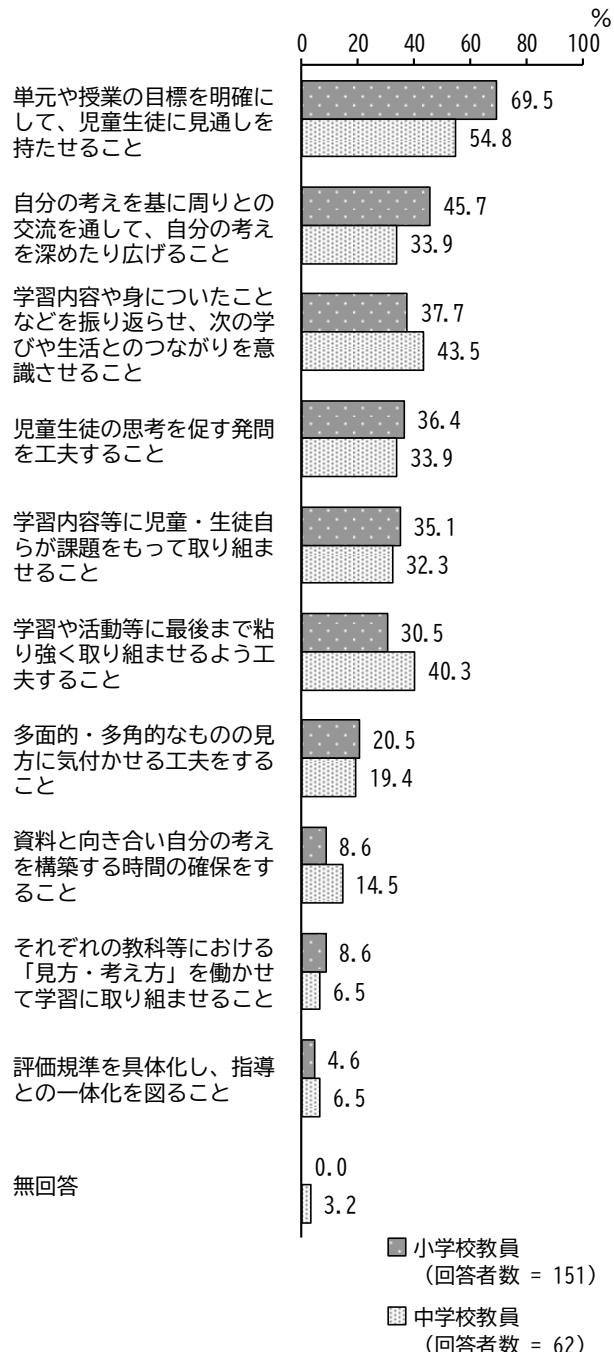
(2) 授業・学習のことについて

問 授業づくりのために特に重視していることはどれですか。(主なものを3つに○)

小学校教員では、「単元や授業の目標を明確にして、児童生徒に見通しを持たせること」の割合が69.5%と最も高く、次いで「自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げること」の割合が45.7%、「学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること」の割合が37.7%となっています。

中学校教員では、「単元や授業の目標を明確にして、児童生徒に見通しを持たせること」の割合が54.8%と最も高く、次いで「学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること」の割合が43.5%、「学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫すること」の割合が40.3%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「単元や授業の目標を明確にして、児童生徒に見通しを持たせること」「自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げること」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること」「学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫すること」「資料と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をすること」の割合が高くなっています。



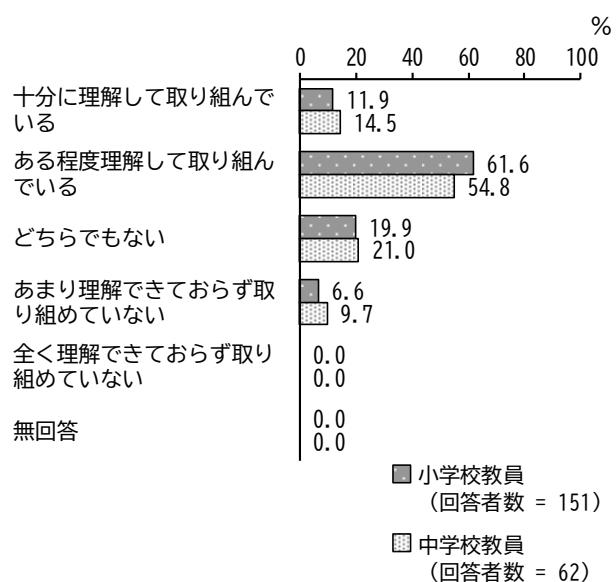
問 「泉大津市学力向上プラン」についてお答えください。(各項目それぞれひとつに○)

① 全国学力・学習状況調査の問題分析、結果分析の視点による授業づくり

小学校教員では、「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 19.9%、「十分に理解して取り組んでいる」の割合が 11.9%となっています。

中学校教員では、「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 21.0%、「十分に理解して取り組んでいる」の割合が 14.5%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が高くなっています。

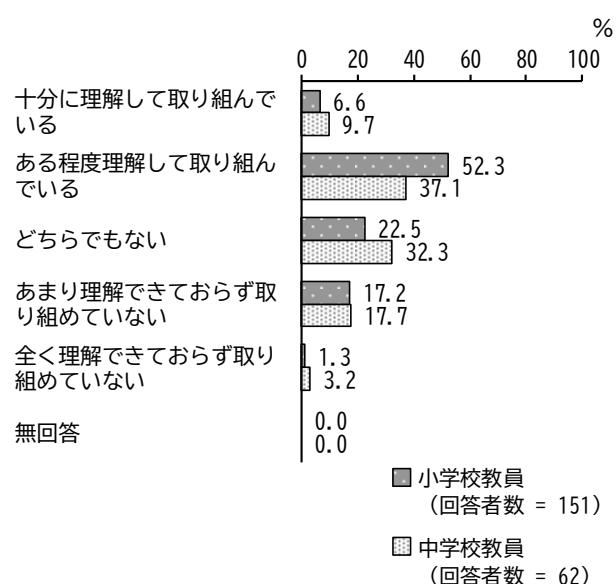


② リーディングスキルの視点を理解した上で授業づくり

小学校教員では、「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 22.5%、「あまり理解できておらず取り組めていない」の割合が 17.2%となっています。

中学校教員では、「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 32.3%、「あまり理解できておらず取り組めていない」の割合が 17.7%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「ある程度理解して取り組んでいる」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「どちらでもない」の割合が高くなっています。

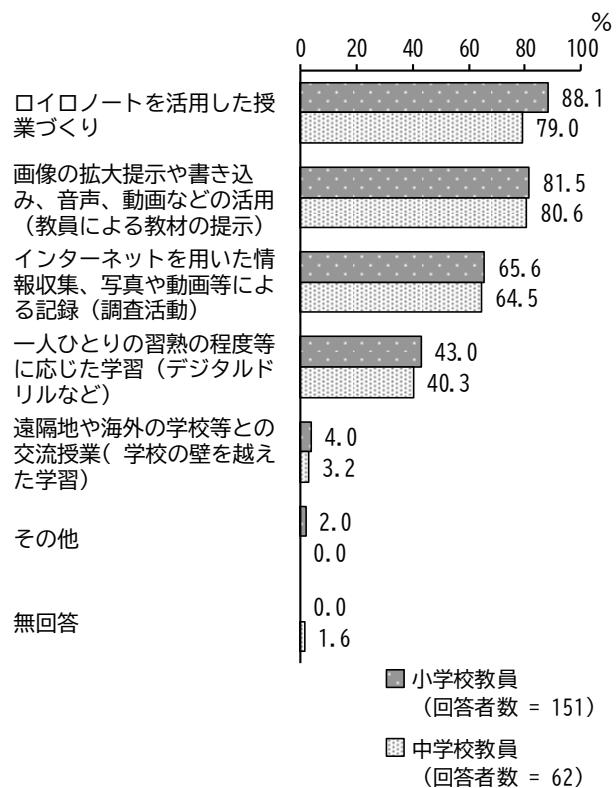


問 ICTを活用した学習の実践で特に活用し、効果的だと思う利用場面はなんですか。
(主なものを3つに○)

小学校教員では、「ロイロノートを活用した授業づくり」の割合が88.1%と最も高く、次いで「画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用（教員による教材の提示）」の割合が81.5%、「インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）」の割合が65.6%となっています。

中学校教員では、「画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用（教員による教材の提示）」の割合が80.6%と最も高く、次いで「ロイロノートを活用した授業づくり」の割合が79.0%、「インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）」の割合が64.5%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「ロイロノートを活用した授業づくり」の割合が高くなっています。



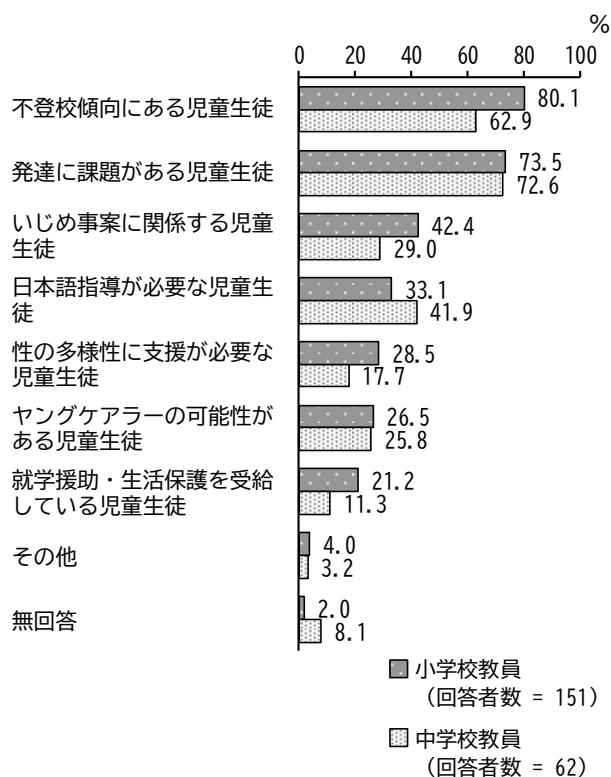
(3) 支援が必要な児童生徒への支援について

問 以下の児童生徒で、支援が難しいと感じたことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学校教員では、「不登校傾向にある児童生徒」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「発達に課題がある児童生徒」の割合が 73.5%、「いじめ事案に関係する児童生徒」の割合が 42.4%となっています。

中学校教員では、「発達に課題がある児童生徒」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「不登校傾向にある児童生徒」の割合が 62.9%、「日本語指導が必要な児童生徒」の割合が 41.9%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「不登校傾向にある児童生徒」「いじめ事案に関係する児童生徒」「性の多様性に支援が必要な児童生徒」「就学援助・生活保護を受給している児童生徒」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「日本語指導が必要な児童生徒」の割合が高くなっています。



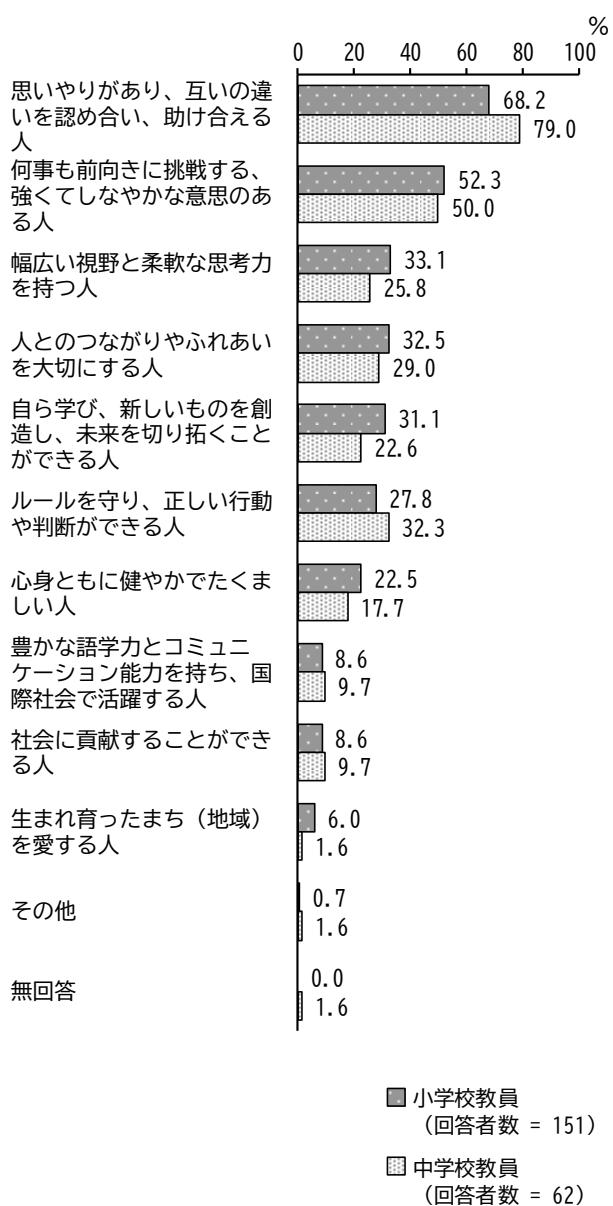
(4) めざす人間像について

問 泉大津市の子どもたちに将来どのような大人に育ってほしいと思いますか。
(特に思うもの3つまで)

小学校教員では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が68.2%と最も高く、次いで「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が52.3%、「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」の割合が33.1%となっています。

中学校教員では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が79.0%と最も高く、次いで「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が50.0%、「ルールを守り、正しい行動や判断ができる人」の割合が32.3%となっています。

小学校教員と中学校教員を比較すると、小学校教員で「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」「自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人」の割合が高くなっています。一方、中学校教員で「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が高くなっています。



4 学校運営協議会

(1) 学校運営協議会の活動のことについて

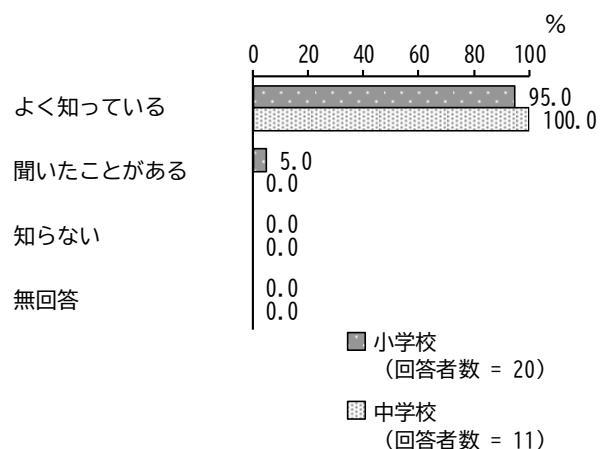
問 学校運営協議会の次の役割について知っていますか。(各項目それぞれひとつに○)

① 校長の策定する基本的な学校経営方針を承認する

小学校では、「よく知っている」の割合が 95.0% と最も高くなっています。

中学校では、「よく知っている」の割合が 100.0% と最も高くなっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「よく知っている」の割合が低くなっています。

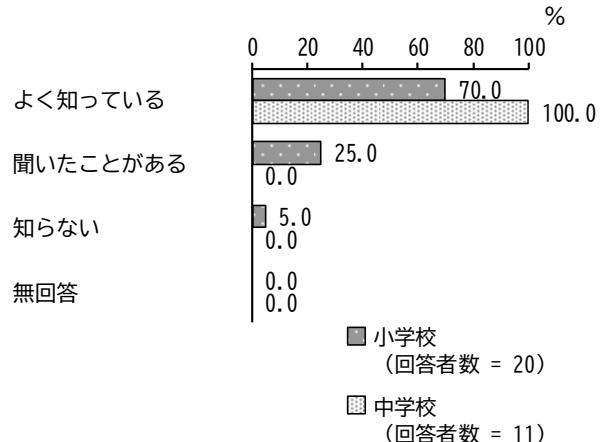


② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる

小学校では、「よく知っている」の割合が 70.0% と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 25.0% となっています。

中学校では、「よく知っている」の割合が 100.0% と最も高くなっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「よく知っている」の割合が低くなっています。



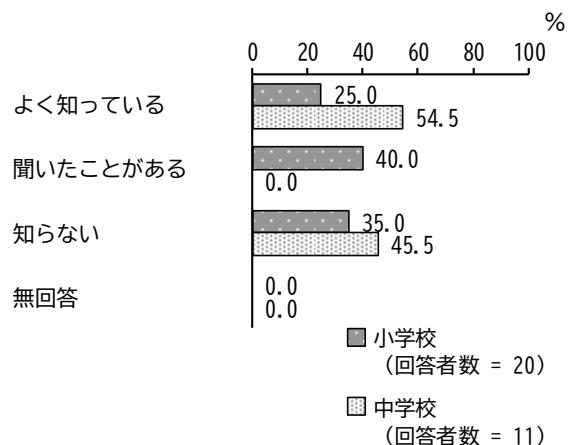
③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、

教育委員会に意見を述べることができる

小学校では、「聞いたことがある」の割合が 40.0% と最も高く、次いで「知らない」の割合が 35.0%、「よく知っている」の割合が 25.0% となっています。

中学校では、「よく知っている」の割合が 54.5% と最も高く、次いで「知らない」の割合が 45.5% となっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「よく知っている」「知らない」の割合が低くなっています。

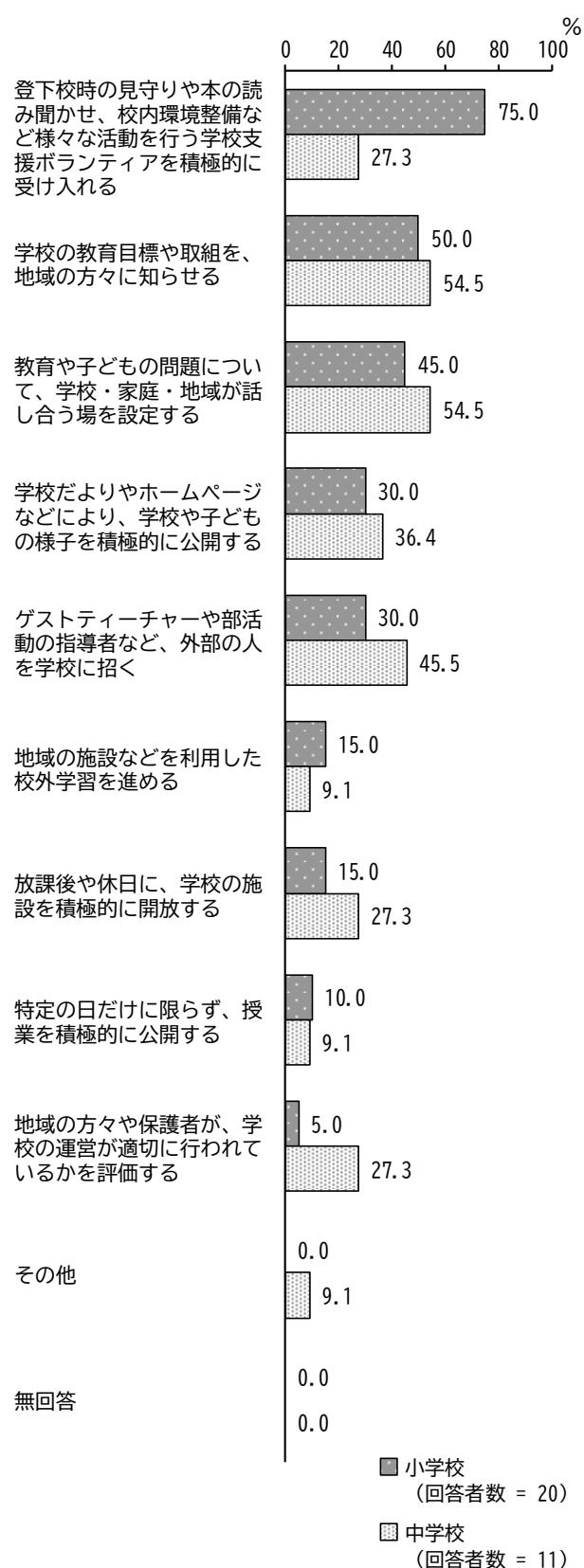


問 地域とともにある学校（パートナーとしての連携・協働関係）づくりを行うために、何が大切だと思いますか。（3つまで選んで○）

小学校では、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる」の割合が 50.0%、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」の割合が 45.0%となっています。

中学校では、「学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる」、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 45.5%となっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が高くなっています。一方、中学校で「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」「地域の方々や保護者が、学校の運営が適切に行われているかを評価する」の割合が高くなっています。

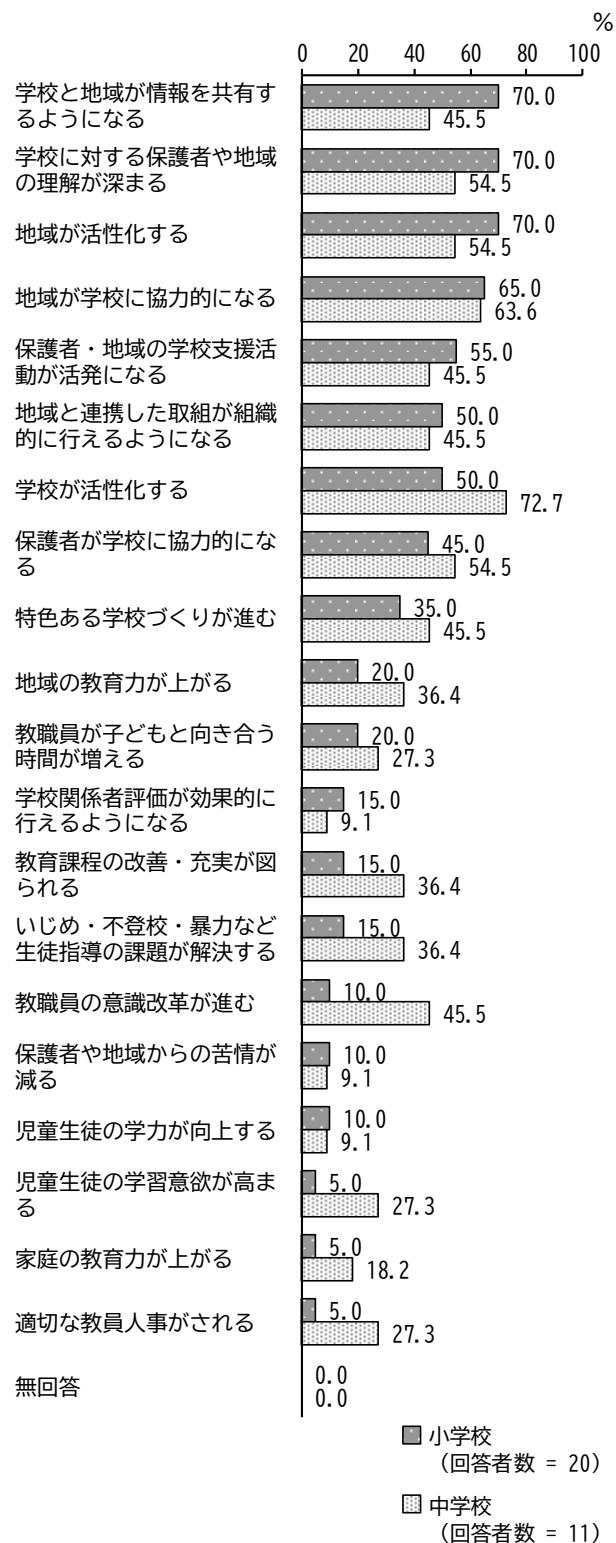


問 学校運営協議会制度をすすめることで、どのような成果があると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

小学校では、「学校と地域が情報を共有するようになる」、「学校に対する保護者や地域の理解が深まる」、「地域が活性化する」の割合が70.0%と最も高くなっています。

中学校では、「学校が活性化する」の割合が72.7%と最も高く、次いで「地域が学校に協力的になる」の割合が63.6%、「学校に対する保護者や地域の理解が深まる」、「保護者が学校に協力的になる」の割合が54.5%となっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「学校と地域が情報を共有するようになる」「学校に対する保護者や地域の理解が深まる」「地域が活性化する」「保護者・地域の学校支援活動が活発になる」「学校関係者評価が効果的に行えるようになる」の割合が高くなっています。一方、中学校で「学校が活性化する」「保護者が学校に協力的になる」「特色ある学校づくりが進む」「地域の教育力が上がる」「教職員が子どもと向き合う時間が増える」「学校関係者評価が効果的に行えるようになる」「教育課程の改善・充実が図られる」「いじめ・不登校・暴力など生徒指導の課題が解決する」「教職員の意識改革が進む」「児童生徒の学習意欲が高まる」「家庭の教育力が上がる」「適切な教員人事がされる」の割合が高くなっています。



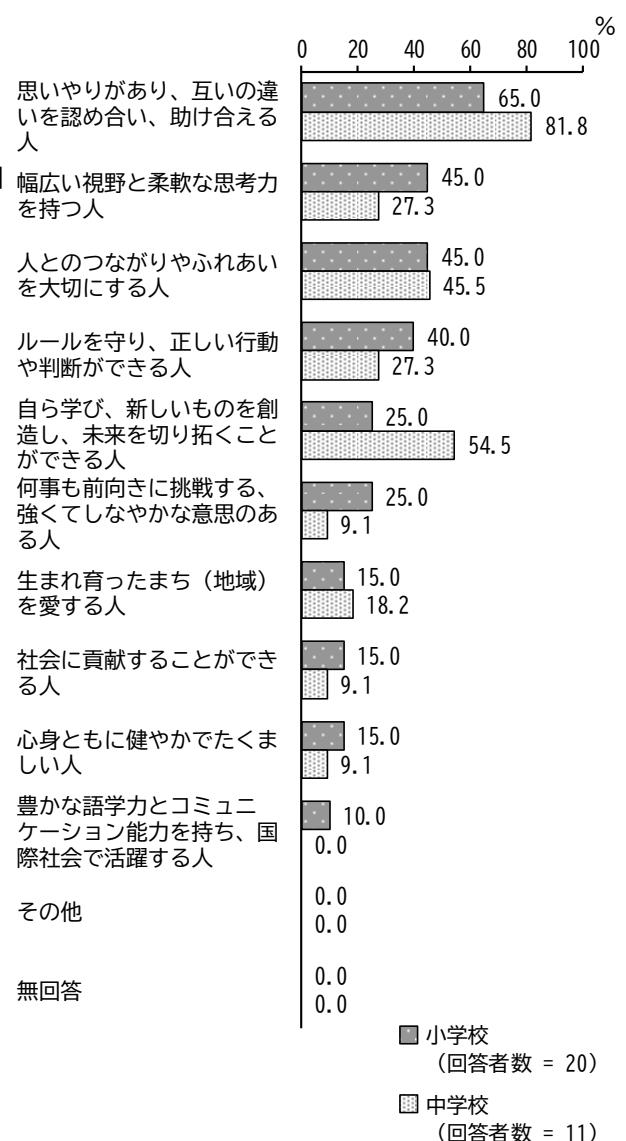
(2) めざす人間像について

問 泉大津市の子どもたちに将来どのような大人に育ってほしいと思いますか。
(特に思うもの3つまで選んで○)

小学校では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が65.0%と最も高く、次いで「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」、「人とのつながりやふれあいを大切にする人」の割合が45.0%となっています。

中学校では、「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が81.8%と最も高く、次いで「自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人」の割合が54.5%、「人とのつながりやふれあいを大切にする人」の割合が45.5%となっています。

小学校と中学校を比較すると、小学校で「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」「ルールを守り、正しい行動や判断ができる人」「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」「社会に貢献することができる人」「心身ともに健やかでたくましい人」の割合が高くなっています。一方、中学校で「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」「自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人」の割合が高くなっています。

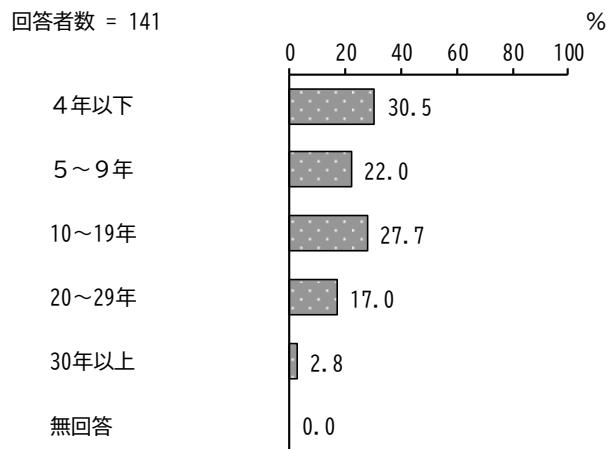


5 就学前施設

(1) あなた自身のことについて

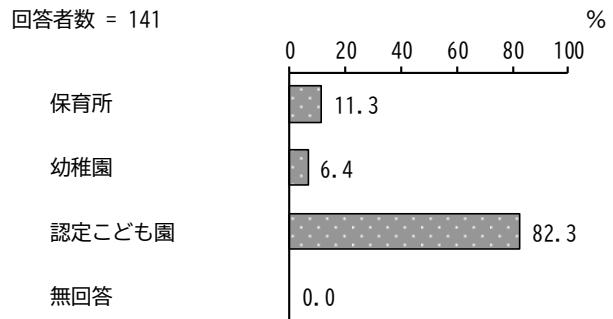
問 あなたの保育所・幼稚園・認定こども園での経験年数（臨時職員期間を含む）は次のうちどれですか。（ひとつに○）

「4年以下」の割合が30.5%と最も高く、次いで「10～19年」の割合が27.7%、「5～9年」の割合が22.0%となっています。



問 あなたの勤務先はどちらですか。（いずれかに○）

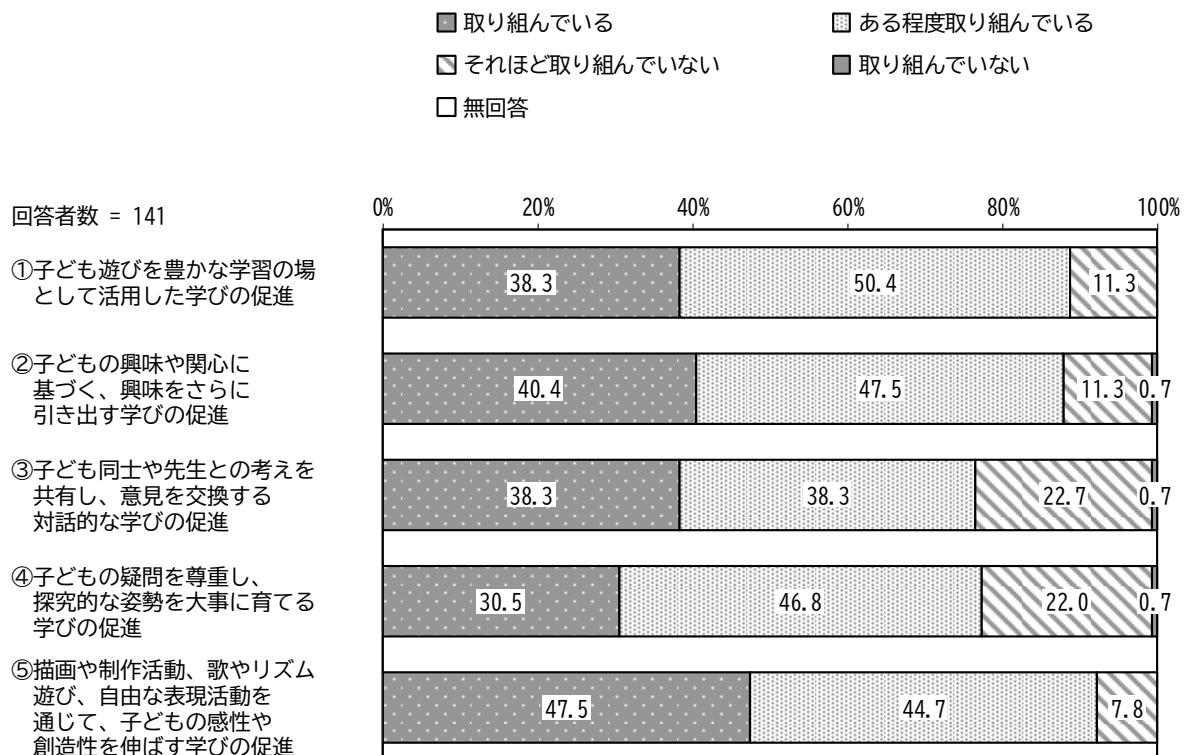
「認定こども園」の割合が82.3%と最も高く、次いで「保育所」の割合が11.3%となっています。



(2) 園所での取組について

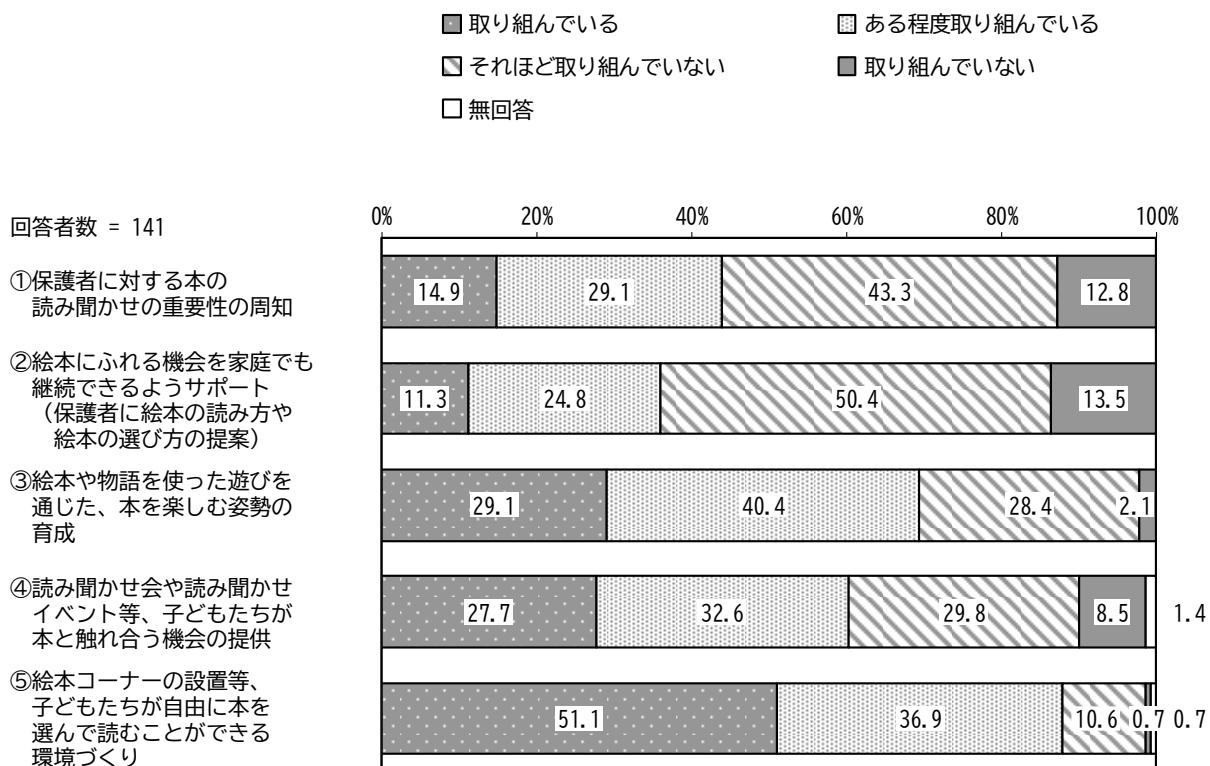
問 あなたの園所では、子どもたちが主体的に考え方行動するために取り組んでいることはありますか。(各項目それぞれひとつに○)

『⑤描画や制作活動、歌やリズム遊び、自由な表現活動を通じて、子どもの感性や創造性を伸ばす学びの促進』で「取り組んでいる」の割合が高くなっています。一方、『③子ども同士や先生との考え方を共有し、意見を交換する対話的な学びの促進』『④子どもの疑問を尊重し、探究的な姿勢を大事に育てる学びの促進』で「それほど取り組んでいない」の割合が高くなっています。



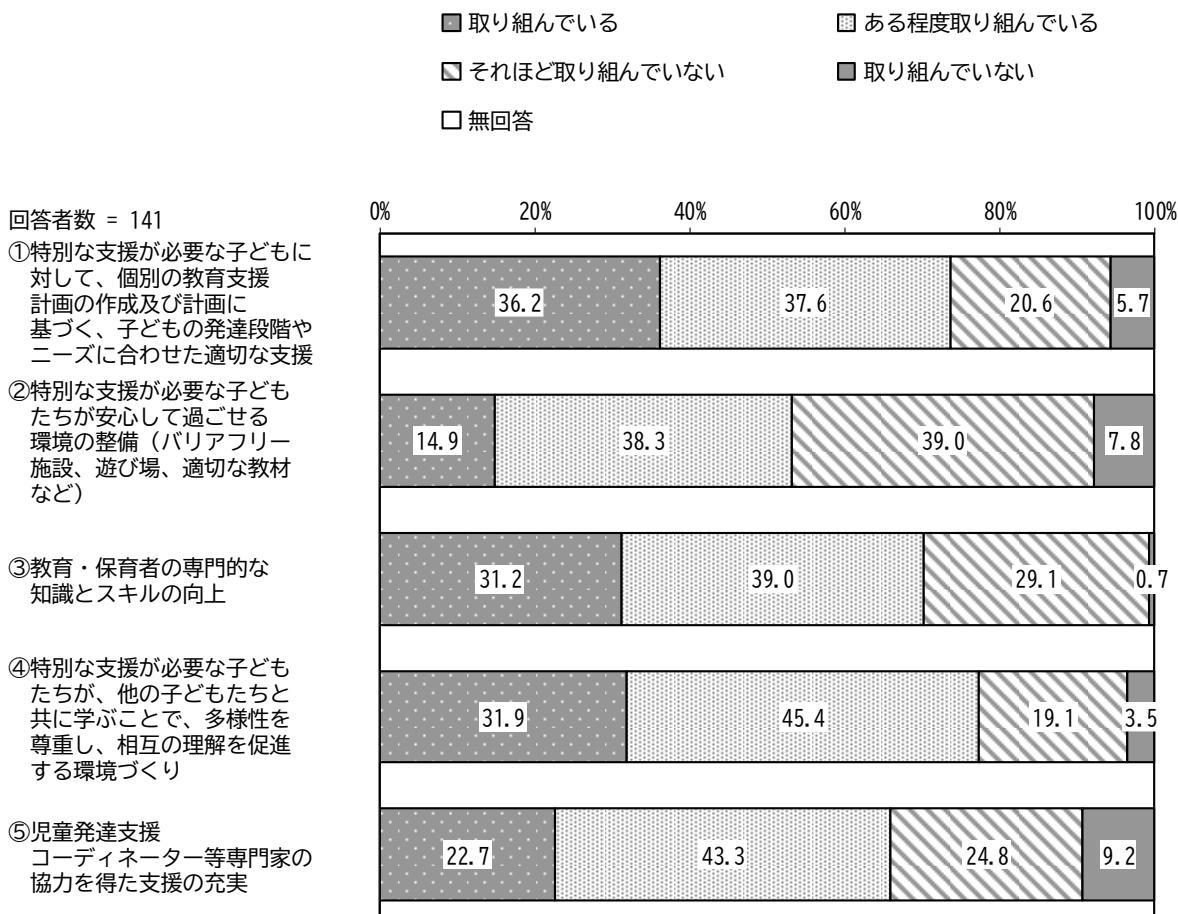
問 あなたの園所では、子どもが本を好きになるために取り組んでいることはありますか。(各項目それぞれひとつに○)

『⑤絵本コーナーの設置等、子どもたちが自由に本を選んで読むことができる環境づくり』で「取り組んでいる」の割合が高くなっています。一方、『②絵本にふれる機会を家庭でも継続できるようサポート（保護者に絵本の読み方や絵本の選び方の提案）』で「それほど取り組んでいない」の割合が高くなっています。



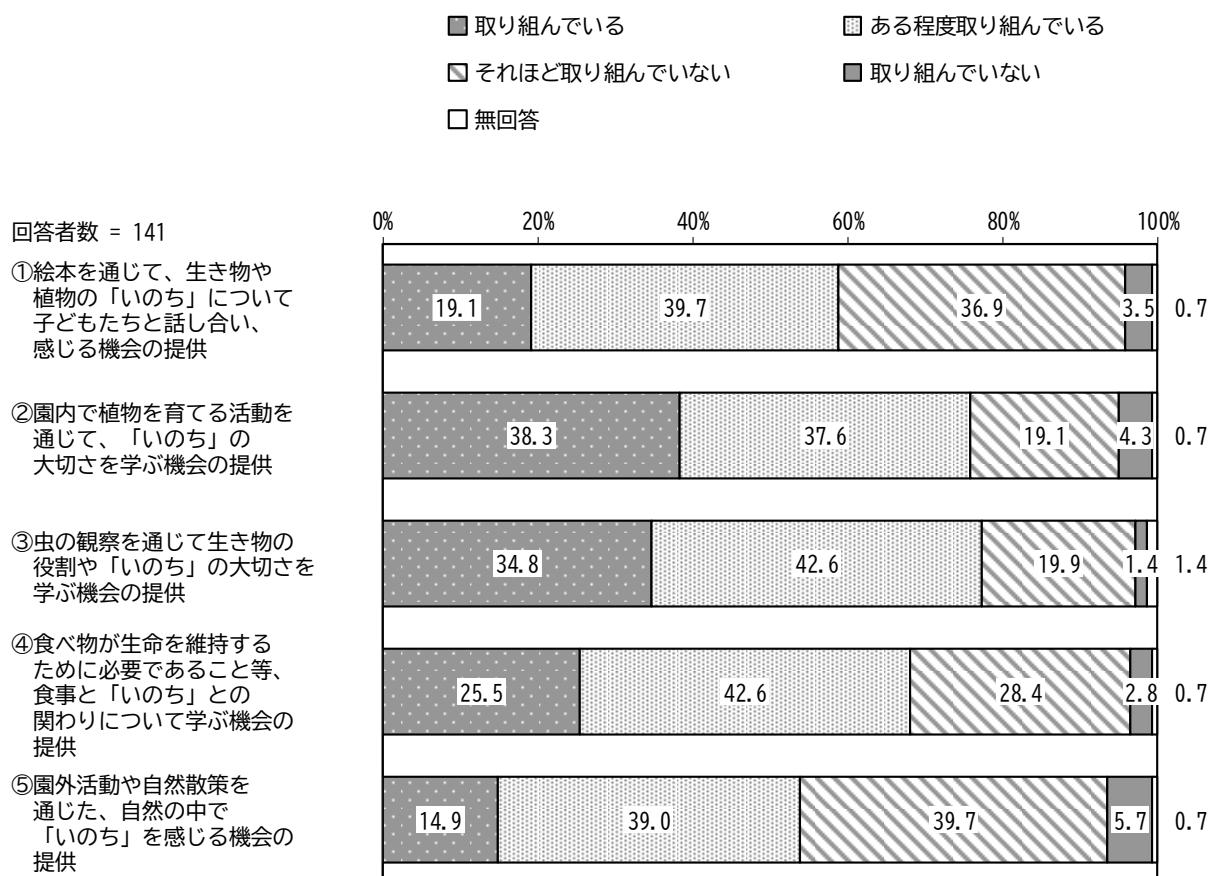
問 あなたの園所では、特別な支援が必要な子どもに対して取り組んでいることはありますか。(各項目それぞれひとつに○)

『①特別な支援が必要な子どもに対して、個別の教育支援計画の作成及び計画に基づく、子どもの発達段階やニーズに合わせた適切な支援』で「取り組んでいる」の割合が高くなっています。一方、『②特別な支援が必要な子どもたちが安心して過ごせる環境の整備(バリアフリー施設、遊び場、適切な教材など)』で「それほど取り組んでいない」の割合が高くなっています。



問 あなたの園所では、子どもたちが「いのち」の大切さを理解するために取り組んでいることはありますか。(各項目それぞれひとつに○)

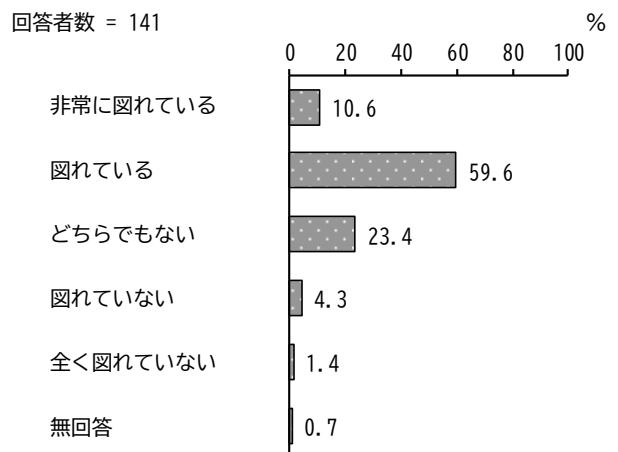
『②園内で植物を育てる活動を通じて、「いのち」の大切さを学ぶ機会の提供』『③虫の観察を通じて生き物の役割や「いのち」の大切さを学ぶ機会の提供』で「取り組んでいる」の割合が高くなっています。一方、『①絵本を通じて、生き物や植物の「いのち」について子どもたちと話し合い、感じる機会の提供』『⑤園外活動や自然散策を通じた、自然の中で「いのち」を感じる機会の提供』で「それほど取り組んでいない」の割合が高くなっています。



(3) 地域の小学校との連携について

問 あなたの園所は、地域の小学校との連携が図られていますか。(ひとつに○)

「図れている」の割合が 59.6% と最も高く、次いで「どちらでもない」の割合が 23.4%、「非常に図れている」の割合が 10.6% となっています。



(4) めざす人間像について

問 あなたは、泉大津市の子どもたちに将来どのような大人に育ってほしいと思いますか。(特に思うもの3つまで選んで○)

「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が 80.9% と最も高く、次いで

「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が 49.6%、「心身ともに健やかでたくましい人」の割合が 33.3% となっています。

回答者数 = 141

